

パンダっこ通信 5・6月号

令和7年5月 発行

病児保育室
ほっこりパンだっこ

病児保育室「ほっこりパンだっこ」開室1周年を迎えて

このたび、病児保育室「ほっこりパンだっこ」は開室から1周年を迎えることができました。これもひとえに、地域の皆さまのご理解とご協力、そして日々お子さまを安心してお預けいただいている保護者の皆さまのおかげです。心より感謝申し上げます。

開室当初はまだまだ手探りでスタートでしたが、保育スタッフや医療スタッフが力を合わせ、「病気の時でも、安心して過ごせる場所」を目指して取り組んでまいりました。お子さまたちの笑顔や、「助かりました」という保護者の皆さまからの温かいお言葉が、私たちの何よりの励みです。これからも、地域に根ざした小児科・病児保育室として、子どもたちの健やかな成長とご家族のサポートのため、スタッフ一同努めてまいります。

2年目の「ほっこりパンだっこ」にも、どうぞご期待ください。

ふくしまパンダ小児科 院長 小林正悟

病児保育利用の様子

4歳のおともだち

難しかったけど、かっこいい飛行機つくれたよ！

メルちゃんで遊んだり、ビーズでアクセサリをつくれたよ！

小学生のおともだち

小さいおともだちから小学生までみんな仲良しです！

おうちから自分の好きなおもちゃや絵本を持ってきてくださる方もいます。その際は名前のご記入をよろしくお願いたします。小学生のおともだちは宿題などの勉強道具を持ってきて、取り組んでいる子も多いですよ。ゲーム等も持ち込み可ですが、ご家庭であらかじめ時間設定をしていただくとう嬉しですが、管理には細心の注意を払いますが、破損・紛失した場合はこちらでの責任は負いかねます。

流行っている感染症
溶連菌ってなに？

溶連菌という細菌がのどに感染して、のどの痛み、発熱が起こります。舌がイチゴのようになっていたり、体や手足にかゆみのある発疹がでたり、おなかが痛くなったり、吐いたりすることもあります。

○溶連菌に効く抗菌薬を約5～10日間内服します。

○多くは1～2日で熱が下がり、のどの痛みも軽くなりますが、途中で薬をやめてしまうと再発してしまうことがあるので指示通りに最後まで飲むことが大切です。

「病気のときのお風呂」

お風呂は体力を消耗するので高熱、寒気、ひどい下痢・嘔吐がある場合は避けましょう。顔色がよく、食欲や元気もある場合は、咳や鼻水が出ていても、お風呂にはいって大丈夫です。

- ・赤ちゃんは首、脇、股あたりが赤くなりやすいので、お湯をぬらしたタオルをしっかりとしぼって拭いてあげましょう。
- ・下痢の場合も股をぬるめのシャワーでながし、乾いたタオルで優しくふいてあげるとすっきりします。

「お風呂と新陳代謝」
咳や鼻水が続くからといって、何日もお風呂に入らないと、アカがたまって皮膚の呼吸によくありません。お風呂には、新陳代謝を刺激したり、寝つきをよくしたりする効果があるのでなるべくいれてあげましょう。

「ばんた」がパンダ小児科にやってきたよ！

患者さんにお名前を募集し、名前は「ばんた」に決定しました。たくさんの投票ありがとうございました。

- ・名前を呼んだり、優しくなでなでてあげてね！
- ・待合室にいつもいるよ！

△ばんたは抱っこが苦手なので抱っこはしないでね！

みんなよろしくね♡

病児保育室に遊びに来ることもあるよ！

【病児保育利用について】

ほっこりパンだっこを利用するにはあずかるこちゃんより利用登録が必要になります。

利用の際は Web 予約をお願いいたします。

◎登録はコチラ

